

## 講師プロフィール

森 拓也

### 1. プロフィール

生年月日：1980年4月23日

出身地：東京都板橋区

最終学歴：酪農学園大学獣医学部獣医学科 2006年卒業

### 2. 職歴

2006年4月～2009年3月

北海道札幌市の動物病院にて勤務。

幅広く一般診療を学び、2008年度には医局長を勤めた。

2009年4月～2010年3月

北海道江別市の動物病院にて年間約300症例の手術を行う。

北海道大学獣医学部内科学教室に研究生として所属し、滝口満喜先生の元で超音波検査について学ぶ。

2010年4月～2011年3月

神奈川県相模原市の動物病院で勤務する傍ら、動物の循環器診断サービス 岩永孝治先生に師事。心エコー  
図検査及び循環器内科について基本から学び直す。

2011年4月～2014年3月

愛知県名古屋市の茶屋ヶ坂動物病院に勤務。

日本の動物における心臓外科の第一人者である金本勇先生に師事し、心臓外科・開心術に従事した。特に体外循環を担当し、3年間で60症例程の体外循環操作を行った。2013年度には医局長にも就任し、循環器疾患の診療や術後ICU管理、肺水腫の治療などを数多く経験する。

2014年4月～2015年3月

獣医循環器学会認定医 取得

東京動物心臓病センター 副センター長に就任し、主に心臓外科と急性心不全の救急対応を担当する。心臓外科チームを結成し、チームリーダーとして手術計画準備から術後管理まで一貫して行うとともに、チームメンバーの教育にも尽力した。開心術（主に僧帽弁形成術、執刀は茶屋ヶ坂動物病院の三原吉平先生）を月1回、開胸を必要とする開心以外の手術（PDAや心膜切除など、自身が執刀）を月1～2回のペースで行った。

2015年4月～

順天堂大学医学部大学院に入学。心臓血管外科に入局し、天野教授の指導の元動物でのより安全で安定した心臓外科の実現に向けて研究を行っている。

同時に動物での循環器疾患を専門とする獣医師として各地で診療を行う。

### 3. 免許・資格

獣医師免許：2006年4月取得

獣医循環器認定医：2014年6月取得

### 4. 専門分野

循環器（循環器内科，心臓血管外科）

### 5. 所属学会・研究会

獣医循環器学会

### 6. 主な論文・学会発表・講演など

- ・ 僧帽弁形成術中に発生した高カリウム血症の補正に対して限外濾過（DUF）が有効であった極小犬の1例  
（第94回獣医循環器学会 定例会，第20回中部小動物臨床研究会年次大会）
- ・ 開心術中に発生した回路内血液凝固に対し、緊急リザーバー交換を行った2例  
（第96回獣医循環器学会 定例会，第21回中部小動物臨床研究会年次大会）
- ・ 体外循環時における犬の循環血液量についての考察  
（第98回獣医循環器学会 定例会，第22回中部小動物臨床研究会年次大会）
- ・ 開心術48例における体外循環関連有害事象の発生率および対処法について  
（第100回獣医循環器学会 定例会，第23回中部小動物臨床研究会年次大会）
- ・ 肺動脈狭窄症にバルーン弁口拡大術を実施した猫の1例  
（第102回獣医循環器学会 定例会）
- ・ 僧帽弁形成術において triangular resection を併用し前尖形成を行った犬の1例  
（第102回獣医循環器学会 定例会）
  
- ・ 肺水腫治療ガイドライン  
（FORPETS VetWS セミナー第2回，2015年12月開催）